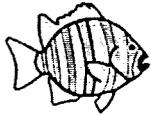


# JOFI OSAKA

JAPAN OFFICIAL FISHING INSTRUCTOR OSAKA



ジョフィおおさか

1998年(平成10年)12月10日

発行者/大阪府釣りインストラクター連絡機構・広報部編集委員会  
大阪市中央区東心斎橋1-9-21ニュー長堀ビル3階34号 大阪府釣り団体協議会・本部内  
TEL06-245-4800 FAX06-245-1360

VOL.3

釣界の知識陣を迎えて

## '99新春懇親会開催

### '99新春懇親会

日時 平成11年1月19日(火)  
PM6:30より  
会場 大阪梅田・ヒルトンホテル  
4階「真珠の間」  
会費 ¥10,000(当日、会場で受付)

JOFI大阪代表。各界来賓挨拶、懇親パーティ、豪華釣具などのお楽しみ抽選会など各種イベント。

これまで参加されなかった会員。また、平成10年度に資格取得された新会員はぜひ参加してください。先輩インストラクターから、これまでの会の動きや活動、今後の計画など詳しい説明も得られます。乞うご期待！  
詳細についての問い合わせは、本部(06-245-4800)。

JOFI大阪の「'99新春懇親会」は来春1月19日に開催することになりました。発足以来3回目の催しとなり、毎回会員を始め、釣り業界、関係マスコミの皆さんも多数出席。自己紹介や意見交換など我々釣りインストラクターにとつて有意義な懇親会となっております。

懇親会にはエンブレムを！

懇親会に出席の際は、全釣協のエンブレムを着装して下さい。米資も多く、JOFI会員としての証明にもなりますので、忘れないようお願いします。

### シンボル旗作成

活動の場に翻るJOFI大阪のシンボル旗を作成しました。

JOFI大阪では、このほど会活動や各種行事に掲揚するシンボル旗をつくりました。

これまで、釣り教室や釣り大会の実釣指導にあたり、会本部や集合地の目印もなく、不便をかこていましたので、会員の皆さんの強い要望に応え制作しました。

次号は2月中旬発行

[主な内容]

- ◆99年度総会内容と議案
- ◇98事業及び活動報告
- ◇98会計決算報告
- ◇99新年度事業及び活動計画
- ◇新役員選出名簿他
- ◆99年新春懇談会開催報告
- ◆大東市家族海釣り大会開催など、地区活動報告
- ◆「汚染される魚達」など会員寄稿の体験レポートや「提言・苦言」他を掲載。



に掲揚され、JOFI大阪の活動のPRなど、有効に利用されました。

なお、シンボル旗は、各地区委員会へも大小旗二組が貸し出されました。大いに活用して下さい。

(事業部会委員長 中野恵司)



10月15日の理事会で公開され、早速、大阪湾ファミリー釣り大会や大阪西区民祭りのフィッシングコーナーの各本部



## 淀川・大和川 クリーンキャンペーン 協体制調う

今年、JOFI大阪の環境問題キャンペーンの「環境として、「98淀川わんどクリーンキャンペーン」に参加しましたが、淀川では新竹北部地区委員長が、主催者側と来年度開催時からの「協力団体」としての本格的参加を。また、大和川は、高湖南部地区委員が参加を兼ね、現地を見学、関係者とJOFI I大阪の参加協力について話しあつて下さいました。

いずれもJOFI大阪の存在を大いにアピールして頂いた訳ですが、来年の開催時には、それぞれの担当地区委員会を中心に、活動を展開する方針です。

## 各自治体へ 釣りインストラクターの 参加を要請

大阪府釣りインストラクター連絡機構では、我々釣りインストラクターの活動の場を広げ、釣りを通して社会奉仕に役立ちたいと願つて10月9日、吉川幾久夫会長名で各自治体に対し、「公認、釣りインストラクター」ご活用をお願い」と題する要請文と、地域在住インストラクターの名簿を送付しました。従つて、今後、送付先からの参加要請や活動に付いての問い合わせも予測

されますので、その際には積極的に対処されるようお願いいたします。また、対応策に付いては、本部にご相談していただければ、人材の派遣、教材の提供などもいたします。

## 期待広がる JOFI大阪の 目覚ましい発展ぶり

JOFI大阪が発足して3年。組織も一段と強化され、釣りインストラクター集団としての本領を発揮する場を模索してきましたが、その熱意と努力が、やつと実り始め、今年は、フィッシングスクールや、釣り大会の開催協力、釣場のクリーン作戦運動など活動の場が広がり、大忙しの年となりました。

参加した釣りインストラクターは、延べ250人へのほり、今や釣りに関するボランティア活動は全国の釣りインストラクター団体の中でも群を抜く存在と自負するまでにいたつております。また、指導や参加の要請も多く来年度には、さらに活動の場が広がるものと推測され、目下その対応策を検討しておりますが、問題は人材不足です。幸い、各地で開催する釣り教室などでは「どのような形で参加したら良いのか判らないので、とりあえず見学に」と云う会員が会場を訪れ、それを機に、熱心に活動に参加される方が増えてきています。

一方、本部でも、こうした参加への情報提供や窓口の拡大に努める一方、新年度総会には、組織の強化再編を行い、会員の積極的参加協力をお願いしたいと思つております。

(事業部会委員長・中野恵司)

## '98 会議メモ

- 4月14日 理事会(総会日程、会報発行)
- 5月11日 事業委員会(総会案件)
- 5月18日 総会準備会(総会提案案件)
- 5月22日 総会開催(大阪市立中央会館)
- 6月2日 会計部会、事務局合同会議(会員名簿作成、会費の件)
- 6月15日 事業委員会、'98年度事業計画進会議
- 6月20日 事業・地区委員会合同会議(各地区行事開催打ち合わせ)
- 7月18日 事務局会議(会報、会費納入用紙発送作業)
- 8月7日 理事会(各事業開催と会報発行打ち合わせ)
- 9月8日 理事会(会旗作成、各事業打ち合せ)
- 9月21日 西区民祭り実行委員会(参加種目及び、参加者打ち合わせ)
- 10月15日 理事会(府下生涯学習センターの釣り教室開設と大阪湾ファミリー釣り大会参加打ち合わせ他)シンボル旗完成(各地区委員会へ貸し出し)
- 11月10日 理事会(新年度事業、予算、役員改選の件他)
- 12月8日 理事会(新年度予算、事業、役員改選の件他)

(カッコ内は主な議案)

## 西日本は広島、名古屋で 公認釣り指導員資格試験 講習会

(社)全日本釣り団体協議会、同日本水産資源保護協会主催の日本釣振興会など協賛の「平成10年公認釣りインストラクター資格試験講習会」は去る10月、広島、名古屋の会場で開催されました。資格試験は1月10日、各会場で、齊に実施されます。また、毎年、開催されてきました大阪地区は、今回、見合わされ来年度開催が予定されています。

なお、平成10年度までの資格取得者は、全国都道府県で計2,389名。大阪地区では276名(うち女性8名)で内訳は別表。

## JOFI大阪・会員在籍者数

地区別	海水面	内水面	小計
北部地区	56	9	65
中部地区	110	23(6)	133(6)
南部地区	62	16(2)	78(2)
合計	228	48(8)	276(8)

提言

会員からのメッセージ

活動の輪を広げよう

高 淵 諒

釣りインストラクター制度が充足したなかで、大阪を中心とした大阪府釣りインストラクター連絡機構「JOFI大阪」が誕生してはやくも1年を迎えました。

しかし、まだスタートしたばかりの組織は世間全般に認知されるまでには至っておりません。

だが徐々に、府下各地の市町村での釣り教室開催や、主要河川のクリーンキャンペーン。釣り大会での指導など、本来の果たすべき役割が増えてきていることは、誠に喜ばしい次第です。

こうした組織活動は、全国的な機構のなかでJOFI大阪が最も先進しているといわれていますが、我々にとっては、まだ未成熟で、誇れる程の展開ではありません。

現実では、こうした活動に積極的に参加されている方は一部に過ぎず、人材不足は歪めません。もしそれが、多くの参加者を得られる事になれば、日本の活動組織となるのは必定です。

現在、JOFI大阪本部では、その為の、活動の場の開拓とPRに務め、皆さんが、より多く参加できる場を広げる事に努力しています。せつかく取得した資格を

眠らせず、大いに活用し誇りと実績を積み重ねて行くことではありませんか。

本部(事業部会)ではその為の教材となる釣り具やテキストの提供準備も整えてあります。組織への参加は無論在住地域の団体グループ、また職場などで、自ら中心となり、健全な釣り技術の普及。環境キャンペーンなど、釣りインストラクターとしての役割を大いに発揮して載きたいと、念願する次第です。

(理事・事務部会、大阪南部地区委員)

釣りインストラクターとの

出逢いと提言

前田 米造

私と釣りインストラクターとの出逢いは奇妙な縁で始まった。

勤め帰りの飲み屋で、釣り仲間から「こんな制度があるが、あなたに相応しいのではないか？」と見せられた新聞切り抜きの釣りインストラクター資格試験の募集要項がきっかけだった。

内容を見ると、受講費用が意外に高い。だが、常々こうした制度に関心を抱いていた私には魅力的であり、早速受講したのが現在、釣りインストラクターとして仲間入りしている私だが。

しかし、資格を得た当初はこれと云った役割は何も果たさず、せつかく得た資格は単なる飾りものに過ぎなかった。

誠に勿体ない話である。

そこで、もつと積極的に行動しなければ意味がない。そう思って本部の会合には、事情の許す限り参加した。

出来たばかりの組織づくりは、大変であり、全インストラクターの活動の場や交流を巡って試行錯誤。そして全国組織に先駆けるJOFI大阪が生まれた。幸い、これを機に釣り教室の開催や各種行事の参加の場が増え、機構本来の目的が着々と進みはじめ、将来への期待と希望が湧き始めた。

しかしその活動の場は、我々にとって往々にして、単なる「黒子」に過ぎない場合がある。

例えば、放流事業や釣り大会などに

参加しているながら、他団体の陰に隠れ、どのポスターや冊子を見ても我が「JOFI大阪」の活字は見られない。まさに肩身の狭い思いだ。

参加する以上、せめて「協力」の2文字ぐらいは見出し出すように出来ないのか?。役員幹部の力量が問われる。

このほど、これら活動に使う、シンボル旗も出来たことだし、より我々の存在を知って貰うために、こうしたPR問題にも真剣に取組む必要があるのではないか。それによって活動の場が大いに開けるものと期待するものである。この提言。私の身勝手な考えだろうか?

(理事・大阪北部地区委員)

役割の重さと嬉しさを感じさせる  
受講者からの手紙

「お隣様で釣り人生の一步が踏み出せました。釣り女を目指します!」Nさん41歳。「これまで釣りの楽しさを知らなかったのは残念でなりません。これから大いに釣りを愛します。有り難うございます!」Tさん54歳。「紳士的で親切な先生方に、感謝と安心感が持てました!」Kさん52歳。

この喜に開催した、泉佐野市の「市民海釣り教室」が終わってから南部地区委員会に前記のような受講者のお礼の葉書が続々寄せられました。いずれも、子育てや専事から解放されつつある中高年層の主婦からの感謝と喜びが見られる内容です。

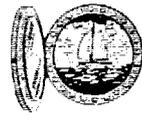
遅まきながら覚えた釣りの趣味が、これからの人生に役立てて下さると云うのです。我々、釣りインストラクターとしては、この言葉で、課せられた役割の重さが一層身に染みる思いです。また大変嬉しい励ましの手紙です。

泉佐野市教育委員会生涯学習センターが府下各市に先駆けて、毎夏この釣り教室を開催。既に4年を経過しますが、年々、受講者が増え、小中学生から父母親。さらに高年のお年寄りなど参加層が厚くなってきており、我々、指導する立場でもより良き知識、技術を磨く必要性を痛感させられました。

(南部地区委員長・北田敬明)

# 活動報告

- 会本部では、こうした情報を参考に未参加の方々の新たなる参加を期待しています。下記の地区窓口へ問い合わせして下さい。
- ◆北部地区委員会 TEL06-392-7688 (新竹)
- ◆中部地区委員会 TEL0729-71-1117 (中野)
- ◆南部地区委員会 TEL0722-97-2962 (北田)



## 好評の枚方・交野 市民釣りの集い

家族団欒で釣りを楽しんでもらおうと今年も6、8、10月の各日曜日。枚方市内にある大阪府淀川左岸流域下水施設の枚方渚処理場安定池で枚方、交野両市民参加「市民釣りの集い」を開催しました。



会場内の広大な水質安定池にはコイ、フナ、テラピアなどが放流されており、家族連れで釣りを楽しんでもらうとともに、場内に特設した「釣り教室」で北部地区メンバーや地元釣りクラブの枚方渚釣会ら7人が実技やマナー、ルールの指導にあたりました。

開催期間の延べ8日間には親子連れを中心に1300人が参加、毎年、開催を重ねることに参加者が増えるなど好評の市民恒例行事になっています。

なお、開催にともない、今回も日本釣振興会近畿支部より、参加記念品や釣り場用ゴミ袋などの支援がありました。

(北部地区委員・中出隆文)

## 淀川わんど クリーン作戦に協力

北部地区では7月19日、大阪市旭区の城北公園二帯のわんどで行なわれた「淀川わんどクリーン大作戦」に参加しました。

近畿地建工事務所、河川環境管理財団、ラジオ大阪始め各種環境保護、ボランティア団体などが参加する「アイラブ遊-淀川」実行委員会が主催しおよそ800人が参加。左岸二帯のわんどの清掃と生物調査を展開しました。

北部地区から、委員長以下20人が参加しましたが、回収されたゴミの中には我々が普段防止を呼びかけている釣りイトのポイ捨てが目立ち、今後さらに強力な防止運動を進める必要を感じました。(北部地区委員長・新竹柳太郎)



## 京都八幡市で 親子フィッシング 教室開催

中部地区委員会では7月25日から、京都府八幡市教育委員会生涯学習課との協力を得て、八幡市民センターで延べ3日間、夏休みの「親子フィッシングスクール」を開催しました。

お父さん、お母さん方と子供ら30人が受講。ビデオを使った、人と自然のふれあいや、釣りのマナー、実釣に備えた釣り技術などを指導。最終日(8月8日)は全員、枚

方市・淀川左岸流域下水施設枚方渚処理場の安定池でフナやコイの実釣会を開催し、釣りの楽しさを身につけてもらいました。

なお、開催に当たり、日本釣振興会近畿支部と(株)マルキューの協賛を得られました。

(中部地区・吉川幾久雄)



## ボーイスカウトに 釣り技能指導

ボーイスカウトの技能指導の一環として開催されている、ボーイスカウト浪速地区進歩委員会主催の「釣り童講習者査会」は、今年も10月24日、1泊2日の日程で泉南の大阪府立青少年海洋センターで行われ、JOFI大阪の中部地区メンバー11人が参加して、その指導にあたりました。

この講習会は、今年で3回目の開催

●JOFI大阪では、会規約の第6条に基づき、大阪府下を3ブロックに分割、地域会員の連絡網や活動組織の強化に努めています。この活動レポートは、地域会員がすでに会員間の交流を広げ活発な活動を展開している様子を皆さんにお知らせするコーナーです。



# 活動報告



となり、当日参加した府下各地区のボーイスカウト20人と宿泊を共にし、

釣り技術やマナー、ルール、実釣など、将来ボーイスカウト

たちが、釣りを通じて後輩たちに正しい釣りの普及を図れるよう指導しました。(大阪中部地区・柴崎隆)

## 地域に定着するかしわら

### フィッシングスクール

小中学校児童生徒を対象にした「かしわらフィッシングスクール」は、さる5、6月の前期開催に続いて8、9月の各上曜3回にわたって後期スクールを開催しました。



柏原市教育委員会や地元、柏原フィッシングクラブの協力を得ましたこのスクールは、すでに3年余の実績を積み地域に定着しつつあり、釣りインストラクターとして、今後より子供たちの健全育成により努力を重ねて行く決心です。(中部地区委員長・中野恵司)

## 主婦層に人気高まる 泉佐野市民海釣り入門講座

今年で4年目の開講となり、8月30日から9月20日の日曜日4週にわたり開催しました。



泉佐野市の生涯学習センターの生涯教育の一環事業として開催しているもので、南部地区の5名が講師を勤め、5名が実釣指導にあたりました。

とくに今回は「趣味として釣りを覚えたい!」と云う主婦や、夫婦連れの受講者が目立ち、同講座の人氣が市民に浸透してきているようです。

また、南部地区所属メンバーの講座見学や参加が増え、地区内の活動参加意欲が高まっております。(南部地区・高木博文)



## 地区スタッフの参加で初の岬町釣り大会開催に協力

8月9日、泉南海岸二帯で開催された岬町マリンスポーツフェスティバル実行委員会主催の「親子釣り大会」は、南部地区委員会所属の釣りインストラクター16人が審査員として協力。参加者200人の釣果審査に当たるとともに大会運営に協力しました。

この釣り大会は、同委員会が町と人の交流と海環境保護を呼びかけるため、地元商店会や電鉄会社、毎日放送、日釣振、大阪支部などの協力を得て開催しましたが、初めての催しとあって主催者側では、大会の手順や、審査など未経験な部分があると、我々スタッフの指導を大いに期待されました。

釣果審査は勿論、釣り場の清掃の呼びかけ、受付会場の設置方法の助言や、交通整理などにも当たり、最終的には大会開催の成功に「役買い、主催者側から、釣りインストラクターの力量を大いに認めて戴く結果となりました。また、当日、地元在住の釣りインストラクター馬谷昆志さんが「地元行事にぜひ協力させて貰いたい」と、会場に駆け付けて下さるなど、南部地区の活動の輪が広がっています。(南部地区委員長・北田敬明)

### 本部の電話番号が変わります。

大阪市内の電話局番号変更に伴い99年元旦の午前2時からJOFI大阪本部の電話番号が「06-6245-4800」となります。

# 活動報告

## 西区民まつりで人気独占!!

中部地区主催

# フィッシングコーナー



11月1日、大阪市西区の土佐公園一帯で催された西区民まつり」の文化行事「西区民まつり」に中部地区が参加。土佐公園会場でJOFI大阪主催の「フィッシングコーナー」を開設したが、これが大好評を呼び、子供を中心とした家族連れで大盛況という成果を得ました。

ルアーキャスティングゲームを始めルアー製作、魚釣りなんでも相談など各コーナーは、閉幕時にまで、順番を待つ長蛇の列が続くという人気ぶりで、まつり関係者も興味深く見学、来年度への開催に期待を寄せられました。

JOFI大阪の「主催」参加は初めての試みで、中野地区委員長始め、佐藤理事、井波委員ら中部地区メンバーを中心に、新竹北部地区委員長。高木南部地区委員など全地区から20人が応援で参加、JOFI大阪の組織体となつて運営に当たり、その結果が見事 成功に導きました。

また、同行事には日本水産資源保護協会、日本釣振興会大阪府支部、地元亀山釣具、区民の皆さんのご協力がありました。

(広報部編集委員会 北田敬明)

### '98行事・活動メモ

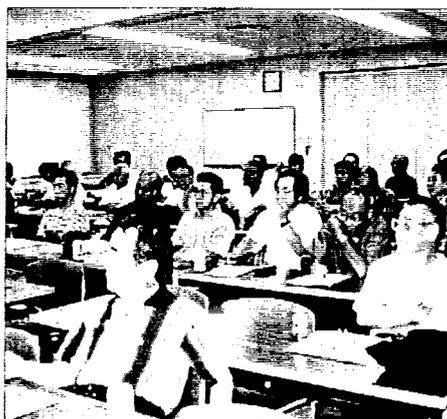
- 5月24日 柏原フィッシングスクール開催
- 5月24日 泉佐野市青少年ルアー教室開催
- 6月7日 泉佐野市青少年ルアー教室開催
- 6月13日 柏原フィッシングスクール開催
- 6月14日 枚方市民釣り教室開催
- 6月21日 泉佐野市青少年ルアー教室開催
- 6月27日 柏原フィッシングスクール開催
- 7月19日 淀川グリーンクラブキヌシ参加協力
- 7月25日 八幡市フィッシングスクール(8月8日迄の各日曜3回開催)
- 8月9日 '98マリンフィッシングin岬町・親子釣り大会運営協力
- 8月20日 大阪湾稚魚放流事業参加協力
- 8月23日 普通救命士講習会開催
- 8月29日 JOFI大阪釣りインストラクター研修会開催
- 8月30日 泉佐野市民海釣り教室(9月20日迄の各日曜1回開催)
- 10月14日 和東町キャンプ&フィッシング(24、25日迄3回開催)
- 10月24日 BS大阪連盟釣り草講習会指導
- 10月25日 大阪湾ファミリー海釣り大会協力
- 11月1日 大阪市西区民祭フィッシングコーナー開催
- 11月1日 大和川クリーンキャンペーン見学
- 11月8日 大東市家族海釣り大会(新和歌浦海浜で開催)



# 最前線

## 専門家招いて 釣りインストラクター 研修会開催

JOFI大阪では、インストラクターの皆さんに資源や境問題など魚にまつわる知識を深めていただくため、8月29日、大阪市立中央会館で「第1回研修会」を開催しました。



山根事務局委員の司会で吉川会長が釣りインストラクターの現況などを説明。長田凱夫、大阪府立水産試験場長による「大阪湾の魚と環境」の講演が行なわれましたが、我々には、全く知らざる大阪湾の総ての知識を解説され大いに海の認識を高めることができました。また、来田広報部委員長、中野事業部委員長らによる、インストラクター制度や事業、活動方針などの説明や質疑応答が行われ盛況裏に終わりました。

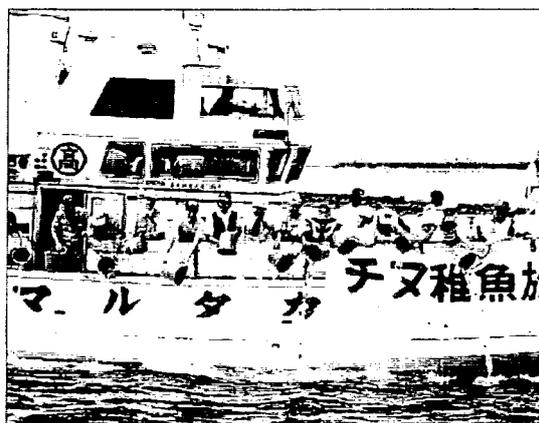
(広報部委員長・藤本滋子)

## 釣り場の清掃や 審査に協力 フアミリー海釣り大会

水辺感謝の日で、全国一斉釣り場清掃デーの10月25日、泉佐野市の食品コンビナート一帯の堤防で日本釣振興会大阪支部主催、大阪釣具協同組合協賛、大阪府釣り団体協議会協力の「98ファミリー海釣り大会」が開催され、JOFI大阪からも中野事業部会、来田広報部会各委員長、木村事務局長など27名が早朝から参加して、釣り場の清掃を呼びかけたり、釣果の審査などに当たりました。



## JOFI大阪が参加 大阪湾の稚魚放流



豊かな海づくりめざし昭和58年から続けられている大阪湾への稚魚放流は、今年も8月20日、大阪北港から岸和田沿岸一帯で行なわれ、吉川幾久雄会長らJOFI大阪のメンバーが参加、協力しました。

放流魚は、チヌ3万匹、イシダイ5千匹。いずれも近畿大学白浜水産試験場で養殖された魚長5センチの稚魚。

この事業は日本釣振興会大阪府支部大阪府釣り団体協議会始め大阪府釣船業協同組合、大阪釣具協同組合の協力体制で実施され、その資金は日釣振支部や、毎年大阪南港・インテックス大阪で開催されているフィッシングショーOSAKAの入場者などから寄せられている基金が当てられています。

## 好評にこたえて 第2回目開催 普通救命士講習会

JOFI大阪では8月23日、守口門真消防組合の協力を得て「普通救命士講習会」を開催しました。同講習会は、釣り場での事故や急病など緊急時に役立つ応急手当や、人工呼吸法など実地的に教わり資格を取得するもので、今回は2回目の開催。

JOFI大阪の釣りインストラクター27名が参加、熱心に受講されました。



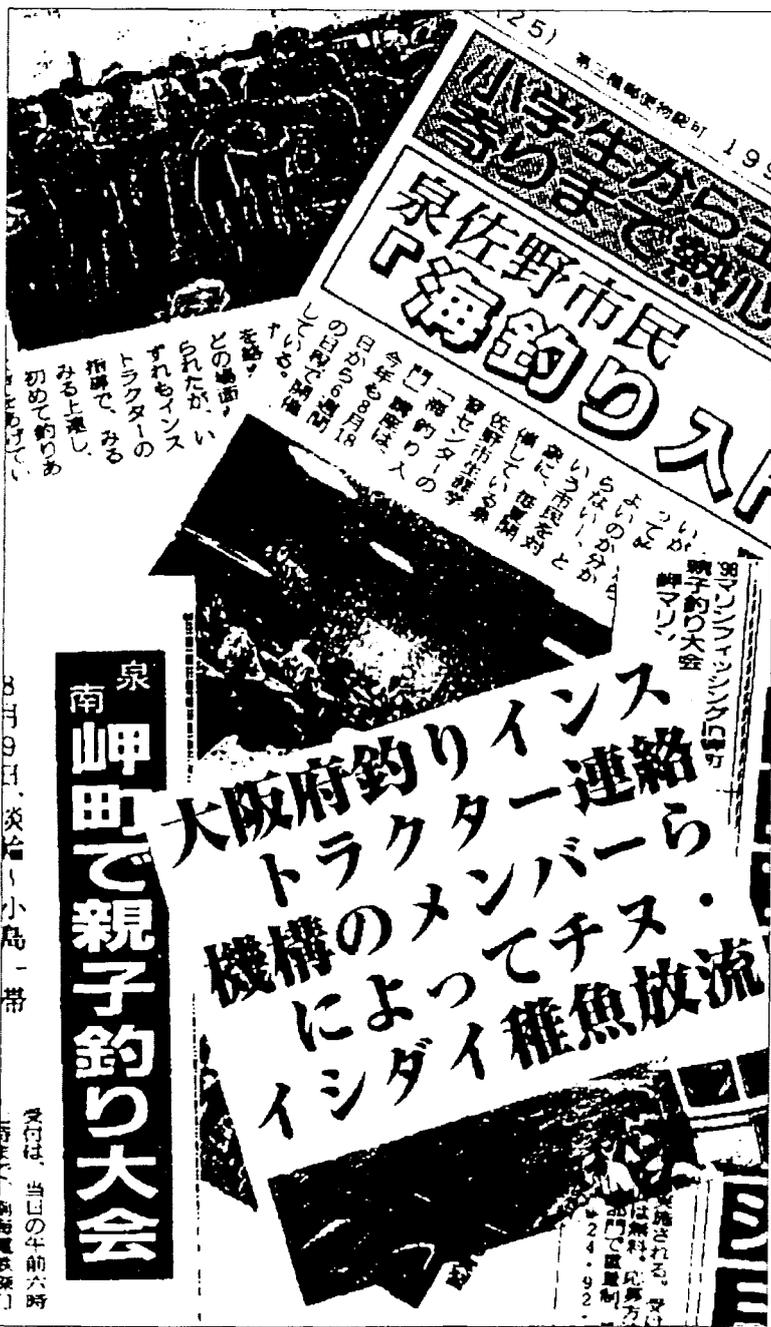
# BACK STAGE



## マスコミへの対応

JOFI大阪(大阪府釣りインストラクター連絡機構)が釣りのボランティア活動を開始してまる3年。ようやく組織の存在が広がるようになりました。各市町村の地域住民への釣り技術指導や、放流(資源保護)清掃(海、河川)の環境保護)など、年々活動の場が広がり、釣りインストラクターの熱心な活動ぶりが好感と信頼を寄せられるようになったのが、因とも言えます。

とくに今年には各市町の教育委員会を中心に青少年の健全育成や生涯学習など社会教育を目的とした各種釣り技術指導(柏原、枚方、泉佐野、八幡市)



8月9日、淡輪、小島一帯  
受付は、当日の午前六時

また、町おこし(大阪西区、岬町)各種釣り関係団体の資源、環境保護活動(放流、釣り場清掃)など活発な参加活動が多岐にわたり展開され、多くの人達と交流してきたのがその成果を積み上げているものと思われ

ます。

だが、これらの釣りインストラクター活動は、関係した団体には知られていないもの一般的には、まだ知られていない範囲に限りがあるのが現状です。

幸い、今年には飛躍的に活動の場が広がり、関係マスコミも徐々に関心の目を向けてくれるようになり、記事

掲載などの協力を得ました。

また、或る社からはJOFI大阪の各種行事の案内や活動状況などの掲載などの積極的な支援を申し入れてくれました。

そこでJOFI大阪では、こうしたマスコミ各界への対応策として、新年度から広報部会内に窓口と専従担当者や取材協力に備えたいと思っております。

◆なお写真、パンフレット編集などの経験者または興味のある方で会報編集に参加して戴ける方がありましたら会本部まで、お問い合わせ下さい。

(広報部会)

### 編集後記

◆手作りで編集する会報も今回で第3号を発行する運びとなりました。これまでの編集工程と異なり、釣りインストラクターとしての活動の輪も広がり、記事の内容も豊富となつて紙面が手狭になつてきました。編集に携わる者にとつては非常にありがたい反面、没にしたり次号に取り残す記事も考えなくてはならず、それが最も頭の痛い点です。出来れば、折角寄せられた原稿をホツトのあいだに掲載したいのが本音です。3日経ったら古新聞の発注はどの意味もありません。

◆会報は会組織の動脈であり、会員間の情報伝達や、意見交換などに欠かせないものです。このため本機構、理事会では11月から継続開催中の「99年度予算・事業案」協議では会報発行を重要課題として取り上げ、予算不足のなか編集、発行に対する拡大予算の提出を検討するなど努力しており、徐々にではありますが、会員の皆さんにお応え出来る立派な会報の発行が実現して行くものと確信しています。

◆また、そうなるに掲載内容の充実を図らなければなりません。多くの会員の幅広い「提言」や「情報」などの投稿に頼らなければなりません。現在の記事は、活動に参加されている方の投稿がその殆どです。都合で活動に参加できない方でも、釣りインストラクターとして、いろいろな知識や情報を持っておられることと思ひます。投稿を通じて会員間と交流を図られるのも活動の一つと考えますので、どしどし会報を利用されることを、お願いしたいと思います。

◆なお写真、パンフレット編集などの経験者または興味のある方で会報編集に参加して戴ける方がありましたら会本部まで、お問い合わせ下さい。

(広報部編集委員会 北田敬明)